

大阪府教育委員会教育長 様

学校経営推進費 事業計画書

- A グローバル人材の育成
  - B 生徒の希望する進路の実現
  - C 生徒の学力の充実
  - D 生徒の自立支援
- をプルダウンリストで選択

取組みの成果を定量的に測るために設定する評価指標を記入(例)

- ・日本英語検定協会英語能力判定テストの伸び率
- ・TOEFLiBT30点以上獲得者の割合
- ・英検準2級以上の合格者の割合
- ・「GTEC CBT」「TOEIC&TOEIC SW」の目標スコアの達成率
- ・科学の甲子園等科学系コンテストにおける成績の向上
- ・技能五輪等技術系コンテストにおける成績の向上
- ・外部機関による英語以外の外国語の検定・能力テスト等の伸び率
- ・希望進路実現率の向上
- ・就職率の向上
- ・国立大学進学者数の増加
- ・難関私立大学進学者数の増加
- ・外部機関の客観的学力診断テストにおける学力の向上
- ・資格取得者数の増加
- ・全国的な学力コンクールでの顕彰
- ・中途退学率の減少
- ・進級卒業率の向上
- ・不登校の減少
- ・支援学校における児童・生徒、保護者の学校満足度の向上 等等
- ・支援学校における地域連携と外部への情報の発信

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

取り組む課題	
評価指標	
計画名	

2. 事業計画の具体的内容

学校経営計画の 中期的目標		
事業目標		
整備する 設備・物品 (概要)		
取組みの概要	前年度	
	初年度	
	2年目	
	3年目	
取組みの 主担・実施者	初年度	
	2年目	
	3年目	
成果の 検証 指証 方法	初年度	
	2年目	
	3年目	

「学校経営計画」の中期的目標のうち、本事業によって強化したい部分をコピー&ペースト。

「学校経営計画」の中期的目標を踏まえ、何をどう強化したいかについて、具体的・簡潔に記入。

本事業で導入・整備したい主な設備・機器について(概要)を記入。

前年度までの学校独自の取組みがあれば、具体的・簡潔に記入。

本事業で導入・整備した設備・機器を活用して初年度から3年目までどのような取組みを行うのかについて、具体的・簡潔に記入。  
\*「取組内容」「評価指標」において、PDCAサイクルによる取組みの改善・強化がわかるように留意すること。

取組みの主担となる組織や実際に取組みを行うメンバー等、学校としてどのような体制で取り組むのかについて具体的・簡潔に記入。

各年度の成果を検証する方法と達成度を評価する指標について具体的・簡潔に記入。  
\*「取組内容」「評価指標」において、PDCAサイクルによる取組みの改善・強化がわかるように留意すること。

他の事業で国または府から支援を受けている場合は、その支援の正式名称と内容及び金額を記載すること。  
例)実践的キャリア教育・職業教育支援事業において、報償費の支援を受けている。〇〇万円

学校番号

他事業での支援内容

3. 事業費

事業費総額	0	円
-------	---	---

積算内訳については、「見積に基づく積算」「実勢価格に基づく積算」のどちらかに「し」を記入。

配当する年度に○を付

各節とも不足する場合は行を挿入してかまわない。ただし、列の挿入は絶対にしない！

「番号」は科目ごとに通番を付す。

「内訳」「単価」「数量」「金額」については、現時点で分かる範囲を記入。根拠となる資料をつける必要はない。  
 \* 根拠資料は支援校に決定した後に、「予算配当申請書」とともに要提出。  
 \* 各節とも消費税が必要であれば記入を忘れないこと。

単価が10万円を下回る物品は、原則として  
 3 消耗需用費とする。

・1事業当たり500万円を上限とし、3年間の分割配当を可能とする。  
 ・複数年の予算配当については、2年目・3年目はそれぞれ150万円を上限とする。  
 ・報償費・旅費以外の経費については初年度のみ配当とする。

工事請負費については、原則として、1事業当たり250万円未満とする。

積算内訳

* 決算科目(節)を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。				見積に基づく積算			実勢価格に基づく積算		
科目(節)	番号	内訳	1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額	
1 報償費	1								
	2								
	3								
								小計	
2 旅費	1								
	2								
	3								
								小計	
3 消耗需用費	1								
	2								
	3								
								小計	
4 維持需用費	1								
	2								
	3								
								小計	
5 役務費	1								
	2								
	3								
								小計	
6 委託料	1								
	2								
	3								
								小計	
7 使用料及び賃借料	1								
	2								
	3								
								小計	
8 備品購入費	1								
	2								
	3								
								小計	
9 工事請負費	1								
	2								
	3								
								小計	
10 負担金・補助及び交付金	1								
	2								
	3								
								小計	
								合計	0

積算内訳

大阪府教育委員会教育長 様

学校経営推進費 事業計画書 (記入例)

- A グローバル人材の育成
  - B 生徒の希望する進路の実現
  - C 生徒の学力の充実
  - D 生徒の自立支援
- をプルダウンリストで選択

取組みの成果を定量的に測るために設定する評価指標を記入  
(例)

- ・日本英語検定協会英語能力判定テストの伸び率
- ・TOEFLiBT30点以上獲得者の割合
- ・英検準2級以上の合格者の割合
- ・「GTEC CBT」「TOEIC&TOEIC SW」の目標スコアの達成率
- ・科学の甲子園等科学系コンテストにおける成績の向上
- ・技能五輪等技術系コンテストにおける成績の向上
- ・外部機関による英語以外の外国語の検定・能力テスト等の伸び率
- ・希望進路実現率の向上
- ・就職率の向上
- ・国立大学進学者数の増加
- ・難関私立大学進学者数の増加
- ・外部機関の客観的学力診断テストにおける学力の向上
- ・資格取得者数の増加
- ・全国的な学力コンクールでの顕彰
- ・中途退学率の減少
- ・進級卒業率の向上・不登校の減少
- ・支援学校における児童・生徒、保護者の学校満足度の向上 等
- ・支援学校における地域連携と外部への情報の発信

「学校経営計画」の中期的目標のうち、本事業によって強化したい部分をコピー&ペースト。

中期的目標を踏まえ、何をどう強化したいかについて、具体的・簡潔に

本事業で導入・整備したい主な設備・機器等について(概要)を記入。

前年度までの学校独自の取組みがあれば、具体的・簡潔に記入。

本事業で導入・整備した設備・機器等を活用して初年度から3年目までどのような取組みを行うのかについて、具体的・簡潔に記入。  
\*「取組内容」「評価指標」において、PDCAサイクルによる取組みの改善・強化がわかるように留意すること。

取組みの主担となる組織や実際に取組みを行うメンバー等、学校としてどのような体制で取り組むのかについて具体的・簡潔に記入。

各年度の成果を検証する方法と達成度を評価する指標について具体的・簡潔に記入。  
\*「取組内容」「評価指標」において、PDCAサイクルによる取組みの改善・強化がわかるように留意すること。

他の事業で国または府から支援を受けている場合は、その支援の正式名称と内容及び金額を記載すること。  
例)キャリア教育支援体制整備事業において、報償費の支援を受けている。〇〇万円

備考について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要	
取り組む課題	C 生徒の学力の充実
評価指標	・授業アンケートと学校教育自己診断における生徒の授業満足度の向上 ・基礎学力の定着度を測る外部学力調査における生徒学力レベルの向上
計画名	
2. 事業計画の具体的内容	
学校経営計画の中期的目標	1 確かな学力の育成 (1) 新学習指導要領を踏まえ、「わかる授業、充実した授業」をめざした授業改善に取り組む。 ア 授業改善チーム(JKT)を核に、公開授業や研究授業、授業アンケートを効果的に活用した授業改善に組織的に取り組み、ICTを活用した授業改善についても研究をすすめる。 ※授業アンケート「興味・関心を持つことができた」「知識・技能が身に付いた」(平成28年度65%)を毎年5%引き上げ、平成31年度には80%にする。
事業目標	「ICTを活用した授業改善」を強力に推し進め、「見てわかる授業」「板書時間の削減」に取り組むことで授業の効率化を図る。もって、「授業アンケート『興味・関心を持つことができた』『知識・技能が身に付いた』を毎年5%引き上げ、平成31年度には80%にする。」を、「平成29年度に70%、平成30年度に80%を達成し、平成31年度以降は85%以上を維持する。」に変更。また、新たに「外部学力調査における生徒の学力評価指数の平均を平成28年度の52ポイントから毎年3ポイント引き上げ、平成31年度に60ポイントとする。」を付加し、その実現をめざす。
整備する設備・物品(概要)	普通教室(21室)への短焦点プロジェクタと書画カメラの設置
前年度	先進的取組校の公開授業への参加(国語科、数学科、英語科、理科 計12回)、授業改善チームメンバーによる先進的取組校担当者への取材(7月、11月)、数学科教員による公開授業と研究協議(7月・12月)
初年度	教科での授業コンテンツの検討(～8月)、機器使用に向けた教員研修(8月)、JKT・有志による授業実践スタート(9月～)、JKT・有志による公開授業での実践発表と研究協議(11月)、生徒授業アンケートの分析と情報共有(1月)、教科別活用状況に対する評価(2月)、次年度に向けた教科別活用方法の決定(3月)
2年目	全教科での活用(4月～)、各教科の代表による公開授業での実践発表と研究協議(7月・11月)、生徒授業アンケートの分析と情報共有(8月・1月)教科別活用状況に対する評価(2月)、次年度に向けた教科別活用方法の検討(3月)
3年目	全教科での活用(4月～)、各教科代表による公開授業での実践発表と研究協議(7月・11月)、生徒授業アンケートの分析と情報共有(8月・1月)教科別活用状況に対する評価(2月)、次年度に向けた教科別活用方法の検討(3月)
取組みの主担・実施者	主担: 授業改善チーム(JKT) 取組みの実施者: 全教員の8割程度を予定
成果の評価検証方法	初年度 ・授業アンケート:「授業に、興味・関心を持つことができたと感じている」「授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じている」(H28年度平均65%)を70%以上にする。 ・生徒の学力評価指数の平均を55ポイントに引き上げる。 2年目 ・生徒の授業アンケートにおける「授業に、興味・関心を持つことができたと感じている。」「授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じている。」を平均80%以上にする。 ・生徒の学力評価指数の平均を58ポイントに引き上げる。 3年目 ・生徒の授業アンケートにおける「授業に、興味・関心を持つことができたと感じている。」「授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じている。」を平均85%以上にする。 ・生徒の学力評価指数の平均を60ポイント以上に引き上げる。
学校番号	
他事業での支援内容	

各節とも不足する場合は行を挿入してかまわない。ただし、列の挿入は絶対にしてないこと。

「配当する年度に〇を付す。」

積算内訳については、「見積に基づく積算」「実勢価格に基づく積算」のどちらかに「レ」を記入。

3. 事業費

事業費総額	0	円
-------	---	---

積算内訳

* 決算科目(節)を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。				(見積に基づく積算)			実勢価格に基づく積算		
科目(節)	番号	内訳	1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額	
1 報償費	1								
	2								
	3								
							小計		
2 旅費	1								
	2								
	3								
							小計		
3 消耗需用費	1								
	2								
	3								
							小計		
4 維持需用費	1								
	2								
	3								
							小計		
5 役務費	1								
	2								
	3								
							小計		
6 委託料	1								
	2								
	3								
							小計		
7 使用料及び賃借料	1								
	2								
	3								
							小計		
8 備品購入費	1								
	2								
	3								
							小計		
9 工事請負費	1								
	2								
	3								
							小計		
10 負担金・補助及び交付金	1								
	2								
	3								
							小計		
							合計	0	

「番号」は科目ごとに通番を付す。

「内訳」「単価」「数量」「金額」については、現時点で分かる範囲を記入。根拠となる資料をつける必要はない。  
 \* 根拠資料は支援校に決定した後に、「予算配当申請書」とともに要提出。  
 \* 各節とも消費税が必要であれば記入を忘れないこと。

単価が10万円を下回る物品は、原則として「3 消耗需用費」とする。

- ・1事業当たり500万円を上限とし、3年間の分割配当を可能とする。
- ・複数年の予算配当については、2年目・3年目はそれぞれ150万円を上限とする。
- ・報償費、旅費以外の経費については初年度のみ配当とする。

工事請負費については、原則として、1事業当たり250万円未満とする。

積算内訳